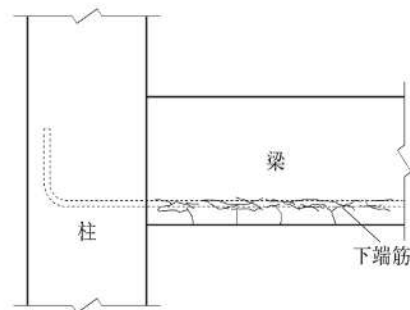
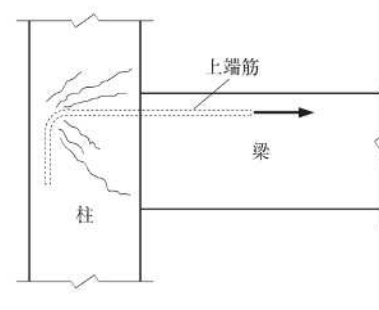


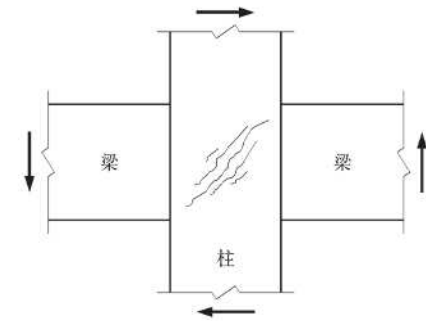
1. 矢印方向に荷重を受けた場合の、「片持ち梁のせん断ひび割れ」



2. 下端筋に沿って付着割裂した場合の、「梁のひび割れ」



3. 柱梁接合部内に定着された梁上端筋が矢印方向に引張力を受けた場合の、「柱梁接合部及び柱のひび割れ」



4. 矢印方向に荷重を受けた場合の、「柱梁接合部のひび割れ」

・ 鉄筋コンクリート造の建築物において、「躯体に発生したコンクリートのひび割れの状況を示す図とその原因の説明」として、最も不適当なものは、次のうちどれか。（平成29年）

1. 最上階の柱梁接合部が、矢印の方向に曲げモーメントを受けた場合のひび割れ。
2. 独立基礎フーチングのはね出し部分が、矢印の方向に地盤からの接地圧を受けた場合のひび割れ。
3. 周辺が梁で固定されたスラブが、鉛直荷重を受けた場合のスラブ上面のひび割れ。
4. 柱梁接合部のせん断耐力壁に、乾燥収縮が生じた場合のひび割れ。

